

## ◇「お客さまと地域に信頼され、全ての社員の幸せを実現する」

青森プラント株式会社は、六ヶ所村における原子力施設の点検保守工事を担当するIHグループ企業として2000年4月に設立され、2020年に20周年を迎えることができました。

当社はIHグループ経営理念である「技術をもって社会の発展に貢献する」「人材こそが最大かつ唯一の財産である」のもと、「お客さまと地域に信頼され、全ての社員の幸せを実現する」を経営理念として、社員一丸となって取り組んで参ります。

地域に密着し、困りごとの痒い所に手が届く対応で、お客さまと地域の皆さまのお役に立てる企業を目指して参ります。皆さまには引き続き変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。



### 年休取得促進 年間年次有給休暇取得率80.9%を達成

社員が休みやすい環境を提供するため、年間年次有給休暇取得目標を10日に設定するとともに、16日以上を取得を推奨しています。

また、年次有給休暇取得の進んでいない社員に対して、総務グループがサポートしながら各所属長が年次有給休暇取得促進を社員に対して促しています。その結果、年間の年次有給休暇の平均取得日数が社員1人当たり16.6日、取得率80.9%を達成することができました。

### 特別休暇 社員を大切にし、地域に貢献するために有給特別休暇を導入

20年勤続してくれた社員に対し旅行が贈呈されますが、その旅行へ行く際に永年勤続旅行休暇が付与されます。

また、被災した社員に対して災害休暇が付与され、令和4年の水害の際に活用されました。

その他、青森県高等学校野球連盟の審判、地域の消防団活動など派遣依頼が提出された地域貢献活動に対しては地域貢献活動休暇が付与されています。

### 勤務間インターバル制度 疲労蓄積と地域性を考え、10時間の勤務間インターバル制度を導入

勤務間インターバル制度を親会社が推奨していたため、自社でも導入の検討を開始しました。都会と違い、ほとんどの社員が自動車通勤であるため、疲労による交通事故防止や通勤災害抑止のために勤務間インターバル制度を導入しました。

## ◆トップのコメント

点検保守工事の現場を抱え、ここ数年忙しい日々が続いています。忙しさが続くと仕事へのやる気と集中力が低下してしまうため、たまには休んで心身共にリフレッシュするようにと会社として休暇取得を推奨しています。しかし、ただ「休め!」と言っても、休暇を取れる環境と雰囲気があれば、なかなか休暇を取ってもらえません。自分が休んでも他の人が代わりに仕事をしてくれる環境と、所属長が率先して休暇を取り、部下が休みたい時には何も言わずに休ませる雰囲気づくりに努めています。

## ◆社員のコメント

私のグループでは管理職が有給休暇取得状況を定期的に確認しています。また、取得率が低い社員がいれば、個別に業務状況を確認して必要に応じて業務を分担し、有給休暇を取得しやすい環境を構築してくれているので、有給休暇が取得しやすいです。従業員代表として模範になるよう今後も定期的にリフレッシュしてバリバリ働いていきたいと思えます。